



食協ウチナー沖繩

Vol.20

発行：一般社団法人沖縄県食品衛生協会 〒901-2114 沖縄県浦添市安波茶 3-5-2-103
TEL.(098)871-1523 ホームページアドレス：http://www.oki-syokyo.or.jp
メールアドレス:syokukyo@circus.ocn.ne.jp

2025年6月



平和の礎 ©OCVB

CONTENTS

- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| ◆ごあいさつ..... 2p | ◆代議員・理事・監事名簿..... 6p |
| ・沖縄県食品衛生協会 会長：佐久本 武 | |
| ・沖縄県保健医療介護部 業務生活衛生課 課長：平良 勝也 | ◆安心して日本の食事を楽しんでもらうために... 7p |
| ◆各支部活動(南支部)..... 3p | ◆令和6年度 食品衛生関係表彰 8p |
| ◆ " (北部支部) | ・厚生労働大臣表彰 |
| ◆ " (那覇支部)..... 4p | ・日本食品衛生協会会長表彰 |
| ◆ " (宮古支部) | ・日本食品衛生協会理事長表彰 |
| ◆ " (中部支部)..... 5p | ・厚生労働省医薬・生活衛生局長表彰 |
| ◆ " (八重山支部) | |

【沖縄県食協本部短信】

令和6年度は、10年ぶりの沖縄県開催の九州ブロック大会を開催し、その決算も無事終了する予定です。今年度は、改めて、食品衛生指導員活動の原点である「手洗い」の重要性について、特に重点的に取り組む予定です。あなたの街の「手洗いマイスター（食品衛生指導員）」の活動にご注目ください。（担当 I）

会長あいさつ

一般社団法人
沖縄県食品衛生協会
会長 佐久本 武



令和7年度を迎えるにあたって、一言ご挨拶を申し上げます。昨年度は、沖縄県で10年ぶりに日本食品衛生協会の九州ブロック大会が盛大に開催され、多数の皆様にご参集いただきました。また、厚生労働省、沖縄県知事を含めご来賓をお迎えすることができ、沖縄県内での食品衛生協会の活動を盛り上げてくれています。

一方では、県内においても新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う経済活動の再開に合わせるように食中毒事故も増大しています。ひとたび大事故が発生すると、観光立県沖縄への風評被害等の大きなイメージダウンにつながります。これに加え、観光需要の急激

な回復に伴い、厳しい人手不足にも陥っており、沖縄県の食品業界の課題は極めて複雑なものになっています。

かねてより日本食品衛生協会が推進しております「食の安心・安全・五つ星」事業は、食品衛生指導員活動の活性化および食品衛生協会の組織強化を図るとともに、食品等事業者における食品衛生の自主衛生管理を推進し、消費者に対して食品衛生対策の適切な情報提供を行うことを目的としており、当協会においても本事業を推進しています。本事業に加えて、那覇市保健所との連携により「那覇市HACCP制度実施検証事業」に引き続き取り組み、地域に根

ざしたHACCPに沿った衛生管理の推進を図っているとさせていただきます。

私たち食品衛生協会の重要な使命は、食品をめぐる自主管理体制構築の推進役として、会員や食品関係事業者に対し、法改正の内容、特にHACCPのスムーズな導入について指導支援を行い、行政と連携しながら食品衛生管理に関する取り組みを広く消費者へ周知していくことです。

今年度も沖縄県食品衛生協会の益々の発展のため、皆様方の格別のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。私のあいさつとさせていただきます。

あいさつ

沖縄県保健医療介護部
薬務生活衛生課
課長 平良 勝也



一般社団法人沖縄県食品衛生協会の皆様には、日頃より食品関連営業施設への巡回指導や食品衛生責任者養成講習会をはじめとする各種講習会の開催等、本県の食品衛生行政の推進に多大なるお力添えいただき、心より御礼申し上げます。

私は、平成30年度から令和2年度まで当課で食品衛生行政に携わっております。その後、新型コロナウイルス感染症対策に最前線で業務を行う感染症対策課等に配属され、この5年間、感染症との闘いに尽力してまいりました。そしてこの度、5年ぶりに再び当課

に着任し、貴協会の皆様とともに改めて食品衛生業務に携わることとなり、身が引き締まる思いです。感染症対策課等での経験を通して培った知識と危機管理能力を活かし、食中毒対策をはじめとする食品衛生業務にこれまで以上に力を入れて取り組んでまいります。

さて、沖縄県の国内観光客数は、2年連続最多を更新するなど、コロナ禍からの回復が顕著となっております。本年7月末には、県内初となる大型テーマパーク「ジャングリア沖縄」の開業も控えております。

今後さらなる観光客の増加が見込まれるこのような状況において、食の安全安心は観光振興の基盤であり、大変重要な要素です。

県としましても、観光客や県民の皆様が安心して沖縄の豊かな食を楽しめるよう、引き続き貴協会とより一層連携し、食品等事業者への食品衛生思想の普及啓発、HACCP運用技術支援等に取り組み、食品衛生対策を一層推進することで安全な食環境の実現に貢献してまいりたいと考えております。今後とも県及び那覇市の食品衛生行政に対し、ご理解とご協力のほど宜しくお願いいたします。

各支部活動レポート



南支部

合同指導員研修会を開催！



令和6年10月29日から30日にかけて、沖縄県食品衛生協会南支部と北部支部の合同指導員研修会を開催しました。初日は森永乳業や菓子御殿の工場見学を行い、衛生管理の実践的な現場を視察しました。午後からは名護市のホテルゆがふいんおきなにて研修会を行います、「県内の食中毒発生事例に学ぶその原因と対策」では、北部保健所生活衛生班の仲宗根猛智氏を講師に迎え、実際の事例をもとに現場で求められる対応力や予防策について深く学びました。また、南支部指導員・幸地利恵氏による「全国指導員研修会の報告」、同部会長・仲本明氏による

「HACCPに基づく衛生管理活動」も行われ、今後の現場指導に直結する有意義な内容となりました。夜には北部支部との懇親会も開かれ、支部間の交流と情報共有を深める貴重な機会となりました。2日目は津嘉山酒造所や民族資料博物館の見学を通じて、伝統的な製造現場や食文化への理解を深めました。充実した2日間となり、今後の指導員活動の質向上に大いに寄与する有意義な研修となりました。



指導員による、講習会時のオリエンテーションマニュアル作成にも取り組んでいます。

北部支部は、令和6年度新指導員3名の仲間が増えました。始めは、先輩指導員からアドバイスを頂きながら、巡回指導を行ってまいりました。今では、積極的に指導員としての活動に参加しています。北部地区は、今年の夏テーマパークジャングリアが開業します。開業に伴い、お祭りやイベントなど、これまで以上に盛り上がりつつあります。北部地区指導員の数は多くはないですが、みんなで協力しながら巡回指導に力を入れていきたいと思えます。目指せ食中毒ゼロ！

食中毒ゼロを目指して！

北部支部



那覇支部

指導員研修会・合同祝賀会開催！

令和6年12月18日「食品衛生指導員研修会」がマリエールオークパインで開催されました。

講師は那覇市保健所生活衛生課監視員の翁長正行様、沖縄県食品衛生協会専務理事の伊志嶺哉様の2名を迎え、HACCPや巡回指導に関する最新情報を教えて頂き、大変有意義な研修会となりました。

その後、新規指導員手帳交付式・全国大会合同祝賀会を開催し、日本食品衛生協会食品衛生功労者受賞の城間雅啓様、日本食品衛生協会理事長表彰の又吉康文様のお祝いをしました。

巡回指導を含めた指導員活動も今後さらに活発化させて、那覇支部を盛り上げていきたいと思



宮古支部

安心・安全な「食」の環境作りで

宮古支部では、地域における食品衛生の向上と安全な飲食環境の確保に向け、年間を通じた巡回指導および受動喫煙対策に継続的に取り組んでいます。毎月開催しているランチミーティングでは、巡回の進捗状況の確認をはじめ、新規開業店舗や衛生管理に課題のある店舗の情報共有を行い、迅速かつ的確な対応体制を整えています。

令和6年度の巡回指導目標は64件、受動喫煙調査指導は150件と設定されていましたが、最終的な実績は巡回指導722件、受動喫煙指導348件と、いずれも目標を大きく上回る成果を収めることができました。こうした結果が得られた背景には、指導員をグループに編成し、それぞれの担当地域を決めて効率的かつ計画的に巡回を進めた体制づくりの工夫がありました。

中でも、特筆すべきは、離れた場所でも営業している店舗への巡回を担当した指導員の尽力です。宮古島の地理的特性上、郊外や離島な

どアクセスの難しい場所も多く、時間や労力を要する巡回となりましたが、それでも粘り強く現場に足を運び、丁寧な指導を継続した指導員の姿勢が、巡回件数の増加と目標達成に大きく寄与しました。

また、観光客の増加に伴って飲食店の新規オープンが相次ぎ、さらに地域イベントやマルシェなど野外での飲食提供機会も年々増加しており、巡回指導の必要性はより一層高まっています。これらの変化に柔軟に対応するため、定期的に合同巡回指導も実施し、複数名体制で重点的に地域を回る取り組みも推進しています。

さらに、昨年度からは支部オリジナルのポロシャツを作成し、巡回時に着用することで、地域住民や事業者への活動認知と信頼の向上にもつなげています。

今後、変化する地域の飲食環境に対応しながら、安心・安全な「食」の提供体制を支えるべく、指導員一丸となり地道な活動を続けてまいります。



中部支部

第六十五回「九州ブロック大会」

中田 政文

去った七月十七日(水)から十八日(木)の日程で、今回は私たち沖縄県が開催地です。「宜野湾市の沖縄コンベンションセンター劇場棟」にて、「第六十五回公益社団法人日本食品衛生協会九州ブロック大会」が開催されました。各支部(北部・中部・那覇・南宮古・八重山)がそれぞれ担当する場所へ行き、スタンバイしてました。

私は、今回は舞台裏でしたので、テーブルの配置が主な作業でした。その訳はと申しますと、5日(水)からの「公益社団法人日本食品衛生協会九州ブロック大会」が始まり、開会の言葉から、表彰、来賓祝辞、祝電披露、特別講演とプログラムが進行し、次に九州沖縄ブロック代表二名(福岡県支部・沖縄県支部)

の食品衛生指導員体験発表がありました。私も、九州沖縄ブロック代表として平成三十年に「北九州国際会議場」で発表した事を思い出しました。あの時の緊張は、今までにないドキドキと緊張で言葉を発するのが大変でした。今回体験発表された方々は、すぐ素晴らしかったです。舞台裏もスムーズに進行が出来まして大変良かったです。



昨年度八重山支部では、指導員養成講習会を行い、新たに12名の新規指導員が誕生しました。今回は竹富町内からの新指導員が、やる気に溢れており、早速離島巡回に参加していただきました。新指導員の今後の活躍が楽しみです。八重山支部は、石垣島をはじめ竹富島、小浜島、黒島、新城島、西表島、鳩間島、有人島では日本最南端の波照間島などの石西礁湖周辺の島々と西に離れた日本最西端の与那国島の12の有人島があり、竹富島に2名、西表島に5名、黒島に3名、小浜島に1名、与那国島に3名の指導員がいて石垣島の指導員と協力して各島々の巡回指導を行っています。



▲指導員養成講習会

八重山支部の離島巡回



▲西表島巡回



▲黒島巡回調査票記入の様子

八重山支部

一般社団法人
沖縄県食品衛生協会

代議員当選者名簿

去る4月21日、一般社団法人沖縄県食品衛生協会代議員選挙管理委員会(与那覇悟委員長)は、4月21日から代議員への立候補を受け付けることを告示し、4月27日に立候補を締め切りました。結果、定数内の立候補で全員、無投票で当選しました。当選者は、選挙管理委員会から一般社団法人沖縄県食品衛生協会会長に報告され、会長はホームページや食協ウチナーの紙上に公表するとともに、支部や当選者に通知しました。

北部支部 (定数9名)

崎原正治 川上明子 松本弘充 安村静子 島袋一太 比嘉誠貴 儀間伸彦

中部支部 (定数47名)

玉城哲栄 高江洲章 城間清次 眞喜志俊和 平江盛也 新崎美也 仲村三美 登中広明 田中あづさ 伊禮政文 中田仁文 中田恵津美 平安良和

那覇支部 (定数27名)

仲宗根妙子 小浜千代子 田場初美 嘉手納江利子

當山朝子 仲根朝子 宮里秀英 池宮盛幸 比嘉昌幸 仲本静悟 岸本里江 呉屋保江 仲元清江 幸地義浩 知念千加子 知念正子 知念敏夫 白井利夫 友利富夫 照和富夫 平屋初江 上運美江 名護勇貴 仲村聡秀 具志堅美秀 伊波徳秀 松本幸美 崎山浩仙 登里朝啓 安里妙子 野原春子 野原美由 崎濱順由 平濱和子 仲村聖子

城嶺雅啓 高嶺貞裕 佐久武哉 伊志嶺聡 中村仁 金城政 渡久地泰 高嶺良也 高嶺正人 高嶺敬也 米須善憲 金城勝子 村野英龍 張本實龍 玉木英作 宮城有喜 宮城栄喜 上原正敏 与那嶺功盛 翁那長武 長嶺光次

南支部 (定数20名)

新垣スミ子 上原昌光 金城永里 外間有織 具志沙織 玉城鷹雄

大城一哉 宮城健男 宮原早苗 宮原秀治 上原力子 渡久山京一郎 知念京子 金城恵子 野原裕子 山原裕成 大城裕成 金城裕成 辻井光成 川満留成 仲田和一 吉田史男 吉里健一 又里文雄 金武優子 長浜幸恵

宮古支部 (定数6名)

砂川靖夫 砂川昭範 奥平幸司 平川新也 藤戸新太 宮田雄美

八重山支部 (定数13名)

赤山丈人 與那國英雄 鍋倉大雄 宮原幸也 根原哲也

理事・監事当選者名簿

去る5月20日に告示されました理事・監事の選挙の結果について、代議員選挙に準じて一週間の立候補期間を定め5月27日に締め切りました。結果は定数内の立候補者で全員無投票当選となりました。次は当選者の氏名を報告します。

理事 (定数30名)

崎原正治 島袋一貴 高江洲哲栄 玉城次章 高江洲章 城間次男 中田政文 宮里政文 仲元清朗 伊波幸美 友利富夫 上運天恵美 平江俊和 松本浩仙 城間雅啓 高嶺貞裕 佐久本武哉 伊志嶺哉

監事 (定数3名)

仲間綾子 友寄淳博 狩俣博美

中村聡仁 金城仁也 渡久地政也 上原早苗 宮城健哉 大城幸哉 仲里文雄 金武勝徳 奥平幸司 砂川昭範 赤山文範 與那國英雄 鍋倉大

野原史行 松原香代子 砂川ゆかり 木村好孝 玉代勢里み 石原孝子 市成寿子 東濱みずき

安心して日本での食事を楽しんでもらうために

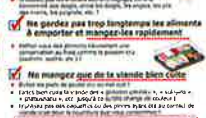
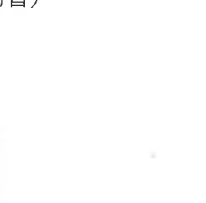
現在、沖縄を訪れる訪日外国人の方々と県内で働く技能実習生の方々が非常に増加しています。日本での食事を、安全に美味しく楽しむためのリーフレット（英語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語、タイ語）、ならびに食品事業所で安全に働いてもらうためのリーフレットが公開されています。これらのリーフレットを活用して、自店での食中毒予防にお役立てください。



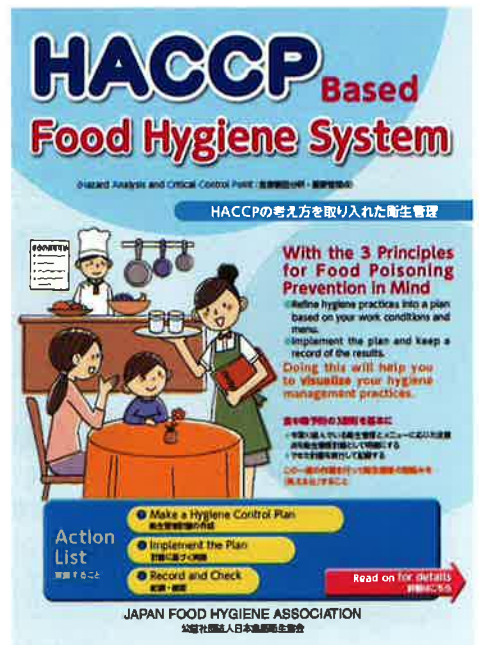
○訪日外国人に対する食中毒予防に関するリーフレット（厚生労働省）



○DL用QRコード（厚生労働省HPへ）



○英語版HACCPの考え方を取り入れた衛生管理リーフレット（日本食品衛生協会）



具志堅前会長の叙勲祝賀会開催



令和2年春の叙勲において、沖縄県食品衛生協会前会長の具志堅健秀氏が旭日双光章を受章されました。これを祝し、令和7年3月10日に沖縄県沖縄市のNBCにて、沖縄県食品衛生協会主催による叙勲祝賀会が開催され、約150名が出席しました。当日は、沖縄県の糸数保健医療介護部長、うるま市の仲村市長、日本食品衛生協会の水野常務理事をはじめ多くの来賓が駆けつけ、和やかかつ厳かな雰囲気の中で具志堅氏の栄誉を称えました。



○糸数保健医療介護部長（沖縄県）



○水野常務理事（日本食品衛生協会）



○仲村市長（うるま市）

令和6年度 食品衛生関係表彰

厚生労働大臣表彰 ◆ 食品衛生功勞者



松本 静子
(北部支部)



宮良 幸男
(八重山支部)

日本食品衛生協会会長表彰 ◆ 食品衛生功勞者



城間 雅啓
(那覇支部)



上地 哲史
(南支部)



玉代勢 光子
(八重山支部)



仲村 清美
(中部支部)

日本食品衛生協会会長表彰 ◆ 食品衛生行政担当者

喜友名 康幸
(中部保健所)

佐藤 まどか
(中央食肉衛生検査所)

日本食品衛生協会理事長表彰 ◆ 食品衛生指導員



鍋倉 大
(八重山支部)



上江洲 小百合
(南支部)



又吉 康文
(那覇支部)



親川 雅浩
(南支部)

厚生労働省健康・生活衛生局長表彰



城間 れい子
(北部支部)



奥平 幸司
(宮古支部)